

「令和」の茂住さんと共演

～書道部～

飛騨高山高書道部、茂住さん共演



高山市の飛騨高山高校書道部が、同市花里町の花里小学校で書道パフォーマンスを披露した。書家で、元号「令和」を揮毫した茂住青邨さん（飛騨市占川町出身）とのコラボ企画で、真剣な表情で筆を執る生徒たちの姿に来場者約150人が見入った。

（玉田健太）

巨大和紙に力強い筆致

もろ左衛門 書生 茂住青邨さんを見守る中、花里小学校の生徒たちも筆を執る様子。



来場者が見守る中、令和の文字を揮毫する茂住青邨さん（右）

高山市で 夏の詩したためるイベント

今日20日から5日間、さまざまな子どもに墨書の楽しさを知ってもらおうと、市民有志でつくる実行委員会が企画したイベント「墨書にふれあう夏の5日間」茂住青邨さんと一同行われた。

普段は人前で書くことはあまりないという茂住さんも、「令和」の文字を行書や楷書などさまざまな書体で墨書する姿を披露し、来場者がスマー、フォンなどで撮影し

今日20日から5日間、さまざまな子どもに墨書の楽しさを知ってもらおうと、市民有志でつくる実行委員会が企画したイベント「墨書にふれあう夏の5日間」茂住青邨さんと一同行われた。

1～3年生の部員7人が、夏をイメージして考えたという詩を、縦3・3行、横4行の巨大な和紙にしたためた。茂住さんが書いてくれたお手本を基に、約1カ月練習を重ねてきたという成果を披露し、茂